

## 『二級建築士試験出題キーワード別問題集 2015年版』正誤表

(2015. 5. 19)

本書の内容に以下の誤りがございました。

ここに訂正させていただきますとともに、誤記がございましたことを深くお詫び申し上げます。

(学芸出版社)

### ■P. 5 目次

#### 2012年度 学科I-問題3、10

- × 5 (P. 29) 空気汚染
- 4 (P. 22) 用語・単位・環境工学

### ■P. 428 次の問題と解説が抜けておりました

#### 2014年度 学科IV-問題8

鉄筋コンクリート工事における鉄筋の継手・定着に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 梁の主筋に D29 を使用したので、主筋の最小かぶり厚さを、その主筋径（呼び名の数値）と同じとした。
2. 杭基礎のベース筋の末端部には、フックを付けた。
3. 隣り合う重ね継手の継手位置は、1箇所集中しないよう相互に継手長さの0.5倍以上ずらして設けた。
4. ガス圧接に先立ち、冷間直角切断機による鉄筋の端面処理を行った。
5. ガス圧接継手の超音波探傷試験は、1組の作業班が1日に行った圧接箇所のうち、無作為に抽出した30箇所で行った。

**解説** (公共建築工事標準仕様書(22年版) 5.3.5 (a)) 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。 (正解1)

### ■P. 402 2012年度 学科IV-問題1 解説3行目

- × 管理者
- 監理者

### ■P. 403 2010年度 学科IV-問題1 解説2行目

- × 管理者
- 監理者

### ■P. 465 2014年度 学科IV-問題17 問題文1行目

- × 尾根工事
- 屋根工事

以上